



春社拾遺

衣冠の至るしを梅白の栢井

比ふやそとや海多ふ路の息 里

如るまけ欲や子け日の玉幕栢見

老猫也妻ふの倅とりに成る牧父

常也教のふ路よ友まあ修可春

瀬月望うふ笑上戸う形 牧菊

海坊やいもあの子とく返し 仙玉

よみまゝの笛吹をなまひとく 梅英

信あお岩

古梅平は遠くるものなわ 松

その昔

かきほやうら 煉られほちち 元夢

煉られほちち

いのち

春社拾遺

